

上巻索引

ア 行

ア

- アスファルト, 321 頁
 (下巻 72 頁に詳述)
 アスファルト釜, 853
 アスファルトプラント, 349
 アスファルト舗装, 293
 アスファルトローラ, 128, 364
 腹型碎石機, 138
 雨降りの作業, 373
 安定さ, 67, 116

イ

- 板フロート, 258
 傷み (コンクリート舗装), 281
 一様土質, 59, 74
 一層式舗装, 170
 いぼ附ローラ, 131

ウ

- ヴァイブレータ, 253
 植込法, 415
 運搬作業 (アスファルト), 360

エ

- 液體限度, 65
 鹽化カルシウム養生, 269

カ 行

カ

- 回轉碎石機, 139
 角材タンパー, 251
 角材フロート, 258
 火成岩, 148, 151
 型枠 (コンクリート舗装), 210
 簡易分別法, 49
 簡易舗装, 8
 岩石, 147
 乾燥対策, 124
 乾燥対策, 123

キ

- 給水養生, 267
 吸着水, 51
 切均らし定規, 249
 瀑集力, 116
 均等係數, 57

ク

- グレーダ, 74

ケ

- 珪酸ソーダ養生, 269
 現場配合, 285

コ

- コーア試験, 280
 膠石舗装, 176
 コンクリート基層, 341
 コンクリート舗装, 157
 コンクリートの試験, 277
 混成土質, 70, 75

サ 行

サ
 碎石, 134, 135, 222, 329
 碎石道, 95
 細土, 34
 ザラザラ仕上げ, 262
 砂粒, 37
 三軸ローラ, 180
 三輪ローラ, 128

シ
 仕上機, 255
 収縮限度, 65
 濡被法(養生), 268
 濡布養生, 265
 シートアスファルト, 295, 300
 シール層, 308
 四分法, 50
 砂利, 37, 83, 222, 231
 砂利道, 82
 砂利層の粒度, 83

ス
 水成岩, 153
 砂, 41, 60, 68, 220, 326
 砂粘土道, 120
 ストークスの法則, 45
 スランプ試験, 278

セ
 セメント, 216

ソ
 双軸ミキサ, 356
 塑性數, 66
 粗粒式, AC, 306
 ソリデチット鋪装, 180

タ 行

タ チ

ツ
 突固め(コンクリート鋪装), 250
 土の安定さ, 67
 土の水分, 64
 土の名稱, 33
 土の粒, 33
 ツルツル仕上げ, 262

テ

泥炭土, 64, 70
 鐵筋, 198
 鐵網, 203
 テルフォード, 98
 テルフォードマカダム, 99

ト

土質安定法, 122
 土質縦断圖, 71
 土質と鋪装, 68
 土質道, 5, 31
 ドッヂ碎石機, 138
 土道, 73
 ドバル試験機, 141
 トペカ, 304
 ドライヤ, 351
 トラック混合, 244
 ドラッグ, 79
 土粒百分率, 53
 道路工夫心得書, 92

ナ 行

ナ
 内部摩擦力(土), 116

ニ
 乳劑養生, 266
 乳劑, 下巻 135 頁以下を見よ
 二層式(コンクリート鋪装), 171
 二層式的缺點, 174
 二輪ローラ, 128

＊

粘土, 41, 63, 69
 粘土道, 75, 121
 粘土粒, 37
 粘土コンクリート, 85

ハ 行

ハ
 配合(アスファルト鋪装), 332
 配合(コンクリート鋪装), 224, 226
 配合(土道), 117
 配合(砂利道), 84
 配合の古い表し方, 335
 配合の新しい表し方, 336
 排水(土道), 76
 バイブレータ, 253
 箱掘式, 86
 パッチング, 286, 287
 版の應力, 166

ヒ

比重(アスファルト鋪装), 394
 比重(コンクリート骨材), 275
 表層(シートの), 297, 338
 表層(ワーピットの上層), 313, 340
 ピチュリック, 316
 ヒルミクスチャーチ, 319

フ

フィラー, 323
 福岡縣試験鋪装, 178
 ブラックベース, 343
 ブラント, 350
 ブラント監督, 361
 篩の目, 272
 ブレーク碎石機, 138
 フロート, 258
 分別法の種類, 44
 分別用具, 48

ヘ

ペーパー, 244
 ベルト, 260
 ベルト掛け, 260
 變成岩, 155

ホ

等目をつける, 261
 鋪設作業(アスファルト), 377
 鋪設作業(コンクリート), 247
 鋪設費(アスファルト), 405
 鋪装, 3, 4
 鋪装政策, 26
 鋪装の厚さ, 163
 鋪装の效用, 9

索引

マ 行

マ

- マカダム, 95, 97
マカダム安定法, 126
マカダムローラ, 128
摩擦(版と路床の), 215

ミ

- ミキサ(アスファルト), 356
ミキサ(コンクリート), 241
水締め, 108
水締マカダム, 101

メ

- 目地(アスファルト舗装), 384
目地(コンクリート基層), 341
目地(コンクリート舗装), 181
目地の間隔, 183
目地の構造, 187
目地の種類, 182
目地の詰替, 284
目地の配列, 186
目地の補強, 189
目地の目的, 181

ヤ 行

ヤ

- 薬品法(養生), 269

ユ

- 有效径, 57

ヨ

- 羊足ローラ, 131
養生(コンクリート舗装), 263
養生(水締マカダム), 111
養生(路床), 213

ラ 行

リ

- 理想の土, 60, 68
理想の粒度, 54
粒 度, 54
粒度曲線, 55
粒度による土の名, 38

ル

- ルシャテリエフ拉斯コ, 275

レ

- レール兼用の型枠, 211
レール式舗装, 161

ロ

- ロサンゼルス試験機, 143
路 床, 33, 105, 206
路床調査, 72
路床土質, 59
路床養生, 213
ロツスの改良, 317
ローム, 41, 61, 68
ローラ, 127, 363
ローラの動かし方, 107, 369, 382
ローラの重さ, 132, 365
ローラの種類, 127, 363
ローラの速度, 133, 368
ローラの能力, 369

ワ 行

ワ

- ワーピット, 313, 340
ワーピットモルタル, 317
ワーレナイトビチュリック, 313
ワーレース, 316
割れ目を詰める, 285, 406

道路舗装法 上巻

定價六圓貳拾錢
特別行為税相當額參拾錢
合計賣價六圓五拾錢

A5判 432頁 (前文共)、出文協承認ア 280031 號
昭和18年8月25日印刷、昭和18年8月30日發行(2000部)



東京本郷區森川町70番地

株式会社 養賢堂

日本出版會員番號 138502、振替東京 25700 番

著作者	久野重一郎
発行者	東京本郷區森川町70番地 及川伍三治
印刷者	東京神田區美士代町16番地 (東東35)高木外史
印刷所	東京神田區美士代町16番地 株式会社三秀舎
配給元	東京神田區淡路町2丁目9番地 日本出版配給株式会社



工學博士 久野重一郎著

道路鋪裝法下巻

東京養賢堂近刊
A5判、上製、約300頁
本文九ポイント横組
一行36字一頁25行

「著者」京大土木卒
現に九州帝國大學教授
九大彈性工學研究所員
同工學部で道路都市
計畫構造力學誤差論を
講ず著書『最小二乘法
の用ひ方』あり

著者が20年近い講義の間に集めた資料と
戰前歐米の道路を視察して得た構想により
鋪装の仕方を詳述した本で下巻は6編を收む

- 第5編 ブロック鋪装 (7章)
第6編 アスファルト簡易鋪装 (6章)
第7編 タール簡易鋪装 (6章)
第8編 乳劑簡易鋪装 (6章)
第9編 セメント簡易鋪装 (4章)
第10編 鋪装の選擇 (7章)

第5編 ブロック鋪装

- 一般構造, 3
- 煉瓦鋪装, 5
- 板石鋪装, 27
- 小鋪石道, 33
- アスファルトブロック鋪装, 42
- コンクリートブロック鋪装, 52
- 木塊鋪装, 59

第6編 アスファルト簡易鋪装

- 石油アスファルト, 71
- 透入式アスファルトマカダム, 77
- 特殊アスファルトマカダム, 88
- アスファルト表面處理, 93
- A T塗装, 96
- 油土道, 99

第7編 タール簡易鋪装

- 道路用タール, 105
- タール表面處理, 112
- 透入式タールマカダム, 116
- 混合式タールマカダム, 120
- タールによる路面修理, 127
- タール土道, 130

第8編 乳劑簡易鋪装

- アスファルト乳劑, 135
- 乳劑表面處理, 144
- 透入式乳劑マカダム, 153
- 混合式乳劑マタダム, 158
- 乳劑の長所短所, 165
- 乳劑土道, 170

第9編 セメント簡易鋪装

- セメントマカダム, 177
- 路上混合式セメント土道, 188
- 別混合式セメント土道, 200
- 石灰土道, 212

第10編 鋪装の選擇

- 鋪装を選ぶ條件, 219
- 車道の鋪装, 228
- 歩道の鋪装, 236
- 軌道敷の鋪装, 238
- 橋面鋪装, 244
- 停車場の鋪装, 250
- 特殊箇所の鋪装, 260

附錄、索引

工博 久野重一郎著

最小二乗法の用ひ方

B5判、上製、307頁、定價4圓(送料別)

東京本郷森川町70、養賢堂刊(振東25700)